

## 第 6 回 地域経済建設委員会

令和6年5月16日(木)	開会 10時00分
5階 第1委員会室	閉会 10時35分

午前10時00分 開会

### ○委員長（渡邊康弘君）

皆さん、おはようございます。

時間より少し早いですが、本日は全員集まりましたので、早速始めさせていただきたいと思えます。

クールビズ期間ということ、また、本日午後から会派の視察もありますので、服装は問わないで進めさせていただきます。

また、上着の着脱も個々の判断でやっていただければと思いますので、お願いいたします。

早速、委員会を進めていきたいと思えます。

ただ今から、令和6年第6回地域経済建設委員会を開会いたします。

---

### ○委員長（渡邊康弘君）

前回4月24日の委員会で、令和6年度に本委員会が取り組む活動スケジュールを決定いたしました。

この案に対して、意見を元に担当事業の進捗に沿って委員会での調査研究を進めていきたいと思えますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、議題に入ります。

初めに、議題1、駅周辺開発事業（駅北）の調査研究についてを議題といたします。

この地域経済建設委員会資料というところの1番を見ていただければと思えます。

この流れは年間予定表というのもありますので、それぞれ合わせて見ていただければと思えます。駅周辺の開発事業、駅北の調査研究についての流れを説明させていただきます。

まず初めに6月下旬、担当課の事業説明、計画を今作ってる、そちらの説明をしていただきます。本当はもうちょっと早い段階でという話がこの間、ありましたが、担当課でその時点で大まかな計画ができるというので、そちらを見ていただいた上で、それをしっかり事業を理解した上で、皆さんに2番のアンケート作成に行きたいと思えます。

方法としましては、榛葉委員に提案をいただきました、選択してシールを貼るというような形で進めていきたいと思っておりますので、お願いいたします。

2番のところのタイミングで委員会を開きまして、聞く内容を皆さんとの協議の中で決定していきたいと思えます。

3番、意見広聴ということ、これは7月頃ということを目安に予定してありますが、図書館、総合文化セ

ンター、駅利用者など、これに関してもどういったことでやれるか、タイミングを見た上でやっていきたいと思いますので、お願いします。

4番、意見広聴、これ2つに分けてあるのは、これは8月の美濃源氏七夕まつりという話がありましたので、こちらで実施できればと思っております。

5番、政策提案に向けた議員間討議ということで、このアンケートを受けて、担当課に伝えていく内容を作らせていただきたいと思います。

それが出来上がりましたら、6番、担当課への政策提言という形にさせていただきまして、それを踏まえた上で担当課より事業説明、こういうところを聞かせていただいて、こういうふうな事業者選定に向けて動きをしますというような回答をいただく形になる予定をしております。

その後、これ2月にできればというところなんですけど、事業者が確定しておりますら、事業者の説明いただくということを予定しております。

これが一年間の流れになりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上となりますが、何か質問はありますか。

**○3番（加藤輔之君）**

はい。

**○委員長（渡邊康弘君）**

3番 加藤輔之君。

**○3番（加藤輔之君）**

意見聴取っていうのがあって、意見広聴で、4番の美濃源氏七夕まつりっていう、これは駅前にテントを張ってやるわけ。

**○委員長（渡邊康弘君）**

今のところそこまで考えてないです。もしそういったことがしたいというのであれば、このアンケートの作成、その際にどういった手法を取るかとか、どういった体制をとるかっていうのも皆さんで協議をして決めたいので、そこで、2のタイミングのときに、みんなでそこも決めていきたいと思いますので、お願いします。

よろしいですか。

一連の流れとしましては、この形で行きたいと思います。

6番 三輪田幸泰君。

**○6番（三輪田幸泰君）**

今の加藤委員と同じような話ですけれども、3番と4番について、当然、相手さんの敷地内であるということと、あと、これは七夕の実行委員会さんのおいでだと思っんですけど、そこに事前に内諾っていうのをいただくんですね。

**○委員長（渡邊康弘君）**

もちろん、ここの委員会でやる決め次第、依頼していく予定です。

ほか、よろしいですか。

この流れで行きたいと思います。また詳細とか細かいところについては、各委員会を開きながら、皆さんの意見でやりたいと思います。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

僕は3番と4番について、具体的なイメージがあんまりぴんと来んのやけど、絵が頭に浮かばんのやけど、これから決めていくっていうこと。

○委員長（渡邊康弘君）

質問内容から決めていきます。

前回、榛葉委員からも説明いただいておりますが、こういうアンケート、シールを貼っていただくとか、そういった形になってくると思います。そういったことを、公明党さんがよくやられるアンケートの形だというふうになるんですけど、そこはこういう形でやりますよという、アンケートを決める時点でまたしっかりと説明しますので。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

内容についてはいいんやけど、その場所よ。場所でどういう形でやるかっていうのが、いまいちピンと来んのやけど、その辺は委員長、どう考えるで。

○委員長（渡邊康弘君）

特にこの七夕まつりでも実際やられてると思うんですけど、皆さんに持ってもらって、書いてもらえる方がやっていただきたいと思います。意見を聞くという形になるので、なので、こちらからここですみたいなことはやらないです。

前、一番最初にそういうことをやりましょうかっていう話をしたんですけど、皆さんからそういう方法はっていうことであつたので、皆さんの意見をしっかりと聞いた上で、こういう形でやるっていうことになったので、お願いします。

○3番（加藤輔之君）

はい。

○委員長（渡邊康弘君）

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

そうすると、看板みたいなやつをもって、バアーっと歩いて、皆さんに、不特定多数の人にどうですかって聞くようなイメージかな。

○委員長（渡邊康弘君）

イメージとしてはそれが一番、今のところ近いと思います。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

確認ですけど、例えば、シールを貼ったりするボードを作成するってなると、かかる費用ってい

うのは発生してくるんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

多少は。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

今のところは予算がないですけど。

○3番（加藤輔之君）

事業費がかかるか。そこを確認してほしい。

○委員長（渡邊康弘君）

事務局やとパネルぐらい買うお金もないですか。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

そうですね。当初予算にはないです。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 榛葉利広君。

○4番（榛葉利広君）

これ自分でやったことがあるんですけど、百均へ行くと、これぐらいのA2判ぐらいの発泡スチロールのものがあって、あれを2つテープで引っ付けるんですね。そうするとたためるようになって。

いわゆる新聞紙大の大きさ、A1判の大きさのやつをプリントしてそこに貼り付けると、折りたためるボードができます。

あとは、まあ、お金がかかるんであれやけど、のぼりとか。

○委員長（渡邊康弘君）

そこまで大きな額ではないと思う。自分も百均ぐらい、500円ぐらいあっても、1,000円ぐらいなのかなっていうイメージでもあったんですけど、シール代とか、ファイル代とか。

○4番（榛葉利広君）

プリンターってすみません。プリンターって大きさ幾つぐらいまでプリントできるんですか。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

この大きいロール紙にできます。

○4番（榛葉利広君）

はいはい、ロール紙があるね。そうすると、A1判も多分、それやったかな。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

提案っていうわけじゃないですけど、市のあるもので何とかやってもらえばいいのかなと思いますけど。

○委員長（渡邊康弘君）

できる限りある材料を使いましたよということで。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

イメージとしては、この中のメンバーが、画板みたいなやつを持って、町の中をうろうろ歩いて、どうですかって聞きながらやっていくということだろうと思うんやけど、で、今、のぼりっていう話が出たけど、瑞浪市議会っていうような旗を背中に差してやるとよう目立っていいと思うんやけど、そういうのは必要ないかの。

○委員長（渡邊康弘君）

議長、お願いします。

○議長（成瀬徳夫君）

私は前ね、それこそ中学校の統合のときにやったことがあるんですけど、あのときにはA4横幕を紙で書いて、作ったやつを張り付けて、そして、そこに集まってきてもらってやったんだけど、やはりこれ七夕まつり実行委員会に場所を提供してもらわないかんですよ。

だから、計画を立ててもらって、議長名で頼みにいかんということですよ。ここのところを使わせてもらいますよ、使いたいですけどって頼みにいかなあかんで、早めに作ってもらって、こういうことをやりたいよということを実行委員会に頼みに行つてこなあかんで。

そして、今、加藤委員が言われたように、やはり瑞浪市議会が一生懸命これに関して取り組んでるよっていうことのアピールになるんでね、これはやっぱり瑞浪市議会という名前も、それこそプリンターで刷ってもらったやつを、今、榛葉委員が言われたやつの上に貼り付けてさ、やればいいかなと私自身は思うんですけど。

紙もこう作つたらいい。A4判で。丸・バツって意見があつたら書いてくださいと。アンケート用紙も。

だけど、申し訳ないんだけど、中学校の統合のときには、七夕はお客さんが市外の人ばかりなんです。駅前来る人の。「瑞浪市民じゃないんで」って言われちゃって、結局はあの辺を歩いている人を捕まえる、そこで聞いたりして、アンケートをもらった覚えがあるんだけど。

○委員長（渡邊康弘君）

今回、七夕は駅利用者という形とか、関係人口にも含まれてきてるんで、それだと聞く場所としてはいいのかなと思っております。

今、議長の話もありましたが、早期に準備をして、ここでオーケーをもらったら対応を進めていきますので、お願いいたします。

ほかにありませんか。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

今回、アンケートをみんなで検討して作るということですけど、このアンケートの内容によっては、意見聴取、広聴の場所がここに収まる可能性もあると思うんですけど、そういった場合は、

例えば、随時対応して場所を増やしていくっていうことを検討されてるっていうことなんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

副委員長とも協議をしたんですけど、臨機応変に対応していかなあかんかなとは考えております。

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

今、委員長が言われましたけど、アンケートの内容、まず6月の政策を聞いた後で、アンケートを何について聞くかを決めて、何を聞くかが決まると、どこの場所で聞くと効果があるかっていうのが分かってくると思うので、アンケートの内容を決めたときに場所とかも想定していったらいいのかなって。

あくまでこれは大体、こういうところがいいかなっていうあれであって、そのときに決めればいいのかっていうふうに思っています。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。当初に美濃源氏七夕まつりはどうかということをお願いしてるので、そこは一つの主軸として考えて対応したいと思いますので、お願いいたします。

ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかにも質問もないようですので、質疑を終結します。

それでは、駅周辺開発事業（駅北）の調査研究については計画に沿って進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

次に、議題2、ブラッシュアップ事業の調査研究についてを議題といたします。

この2の資料の2番になります。ブラッシュアップ事業の調査研究について、流れとしましては、5月、6月に企業訪問に行かせていただく予定で調整をしております。

行先も大まかには決めてあるんですが、株式会社生活の木、日本ジオニック株式会社、株式会社東濃ビアワークス、ミヤマプランニングで、行くメンバーは、これは各2人ずつ、先方に迷惑がからない程度の人数ということで思っております。

ただ、選考したメンバーになるんですけど、先方の予定を優先しますので、ただ、誰々いけないよということがあれば、臨機応変に対応していただいて、各委員間でちょっと変えていただくとか、そういうことも必要になってくると考えております。

また、ヒアリング項目に関しましては、日程、アポを取る時点でこういうことを聞きたいですということを先方に送らせていただきます。

事業の成果、効果、また、事業に参加して良かった点、事業に参加して悪かった点、今後、瑞浪市に希望する点等を含めて、自由に意見を言っていいただければと考えております。

およそ30分から1時間ぐらいの訪問を予定しております。

その内容を踏まえまして、こういった事業を進めるべきではないか、こういった事業を今後続けていくべきではないかというところで、政策提案に向けた議員間討議を行います。

そちらでまとめたものを担当課への政策提言として送らせていただきます。

その後、担当課より、それを踏まえた上で、今後、事業をどうしていくかとか、今現在の事業がどうなっているかとか、そういった説明を受けるような流れになっておりますので、お願いいたします。

説明は以上となりますが、何か質問はありませんか。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

まず、企業訪問をして、ヒアリングをされるってということですけど、その成果とか効果、売上げなんかはどちらかという担当課のほうが把握してるような気がするんですけど。

○委員長（渡邊康弘君）

もちろん担当課なので、そういった市の事業の中でのベースは出てるんですけど、ブラッシュアップ事業をした結果、独自に企業内でそういったところの販路ができたりとかして売上げが上がったよとか、こういうのができてるよっていうのは、データとしてはないそうなので。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

ということは、この事業で、ふるさと納税が上がった金額を調べるのではなくて、企業の売上げがどんだけ上がったかというのを調べてくるんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

そういった効果や、お話ししていただける範囲ですね。ここにどのくらい効果が上がってますよとか、販路が増えましたよとか、これだけ金額が上がりましたよとか、話していただける範囲で聞いてくるということになります。

まあ、事前に出して、これは答えられないよということであれば、それは仕方ないと思ってます。協力していただいて、その企業さんたちが望むような政策を次年度以降続けられるようにしていきたいという思いをしっかりと伝えた上でお願いしたいと思ってますので。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

うちも会社として、売上げを聞かれて、簡単にホイホイ答えられるような、そうじゃないと思うんですよ。なかなか一般の企業が売上高を聞かれて、はいはい、ほいほいってこう答えられるものじゃないかなと思ってて、例えば、今回のブラッシュアップ事業に関することで。

○6番（三輪田幸泰君）

その商品に対して。

○7番（棚町 潤君）

その商品に関してっていうことで。

○委員長（渡邊康弘君）

もちろんそうです。もちろんその部分でっていうことで。

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

そうだと思います。売上額って括弧に書いてあるから、おかしいけど、そのブラッシュアップ事業に上がってやったことの、どんな成果があったとか、効果を聞くっていうことでしょ。だから、この売上げをちょっと外しとけばいいんじゃないですか。

○委員長（渡邊康弘君）

担当者から、もし聞いていただけるのであれば聞いてほしいという内容があったので、そういったものが増えてくると、じゃあ、もっとこういうふうにしていきたいっていうのが見えてくるから、もし聞けるようだったら、皆さんから質問していただくとありがたいという話がありました。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

今の話の元に戻りますけど、ブラッシュアップに関係する事業だけであれば、担当課で把握できるんじゃないっていう話になるわけです。

金額的なもの以外で効果があったものを調べてくればいっていいことではないですか。

○委員長（渡邊康弘君）

例えば、ふるさと納税であったりとか、そういうことに関連するデータとしては持っているそうです。その中で、それ以外の販路で効果があったものなどがあれば調べてきていただきたいです。

なので、委員の皆さんから聞くのが難しいよとか、大変だよということであれば、効果っていうだけで。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

実際に行って、いろいろ話するといろいろなことを言ってくれるんで、それでその会社の歴史とか、ヒット商品をどうやって作ってきたとかっていういろいろな話をしてるから来てくれるんで、それはそれで非常に面白いと思うんで。

もう一つは、これ載せたことでどうなったかっていう、その辺の動きは担当課のほうがよう知ってるかもしれないけども、そういう発明品を作り出すまでのいろんな苦労みたいなものがきっとあると思うよ、それぞれ。もう僕の担当も非常にそれに関してはよう分からんから、9年たったら、これ。9年がたつので。

○委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

今、ブラッシュアップ事業の調査研究ということで、これを追っていくことに関して、今のヒアリングの1と2と3に共通することやと思うんですけど、今言ったジオニックさんですと、デスモス

チルスのゴルフのマーカ-のなんかと思うんですけど。あれは名古屋で売っておったっていうの数値という、ちょっと全員協議会のとときに部長なんかと話したような記憶があるんですけど、そこら辺って多分、執行部も把握しとるんじゃないかと思しますので、それについて、それだけ。やっぱり成果や効果ということのほうがいいかなと思って。

単なる幾つ売れたんだっていうこと、これは要するに波及なんていうのはなかなか難しい話じゃないかと思しますので、ですから、成果効果のほうでちょっと、加藤委員もおっしゃったように、根掘り葉掘り聞くっていうのも一つかなと思う。

売上で、何個売ったかっていうのは、多分に執行部は把握しとるのかなと思いますから、成果効果ということで、ブラッシュアップで販路拡大云々があればそれは成果になってくると思しますので、この後、幾つ売れたというのもまた成果効果になってくると思うんですけど。

当然それは良かった点になると思うんですが、参加して悪かった点っていうのは、またありますので、数が幾つ売れたっていうのはオプションとして聞くっていうものでいいのかなと思いますよね。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

お願いなんですけど、対象品目をやっぱりリストアップしていただかないと、僕はピアワークス担当なんですけど、どのビールかっていう話になっちゃうんで、ブラッシュアップでできた成果物の一覧なりなんなりかがあると、僕らもそれについて調査ができる。

○委員長（渡邊康弘君）

ホームページにはちょっと載ってたりとか、無意味なので、委員なら知っていて当然かなと思ってたので、用意はしなかったんですけど、ジオニックだったら一輪挿しだったりということで、ここで作ったりとか、すぐに作ってる、去年とかは。

また今年、デスモスチルスIPAと、何やったかな、あとは。もう一個、パレオパラドキシアIPA、ジャムとかそういった形で。生活の木さんはフレグランス、匂いのやつだったりとか。

けど、確かにブラッシュアップ事業、令和4年、5年のやつの資料があれば、より話がしやすいと思しますので、何とか急いで用意していただきますので、Dropboxに入れといて、それを元に、どの企業さんも、もしこれが行く先が変更しても対応できるように用意させていただきます。

売上金については、やっぱり聞きづらいついていうことは思しますので、効果というところで収めて、質問させていただく形にしますので、お願いします。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

例えば、ジオニックのバターがここが最初に出たときは売れないだろうと思ったが、これが今、すごい売れとるということは、きっとすごい、逆にドラマが背景にあると思うんですよ。僕はきつとそういうのを喜んで話してくれると思うけどな。

○委員長（渡邊康弘君）

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

たまたま言って悪いか、この企業さんがブラッシュアップ事業に、この製品を出して販売されたのであって、さっきからおっしゃってるように、その会社のバックなんかも、そうするとこれだけじゃなくて、本命の商品があるわけなんで、そういうこともお話が聞けるので、いいのかなと思いますけど。

○委員長（渡邊康弘君）

ヒアリングでは自由意見ということで、こういうのに参加して、更にこういうふうになって、こういうふうになったから、出てくる可能性もあると思いますので、比較的、話がしやすい相手かなと思って、一応この配置はしてあるので。

○1番（福永泰子君）

同じような話ですけど、私はそのブラッシュアップの商品だけに焦点を当てるのではなくて、もちろんそれが大事なんですけど、相乗効果っていうのがあると思うんですけど、そのほかのそういう、これをしたことによって、こういうものが売れたよとか、こういう、販路もそうですけど、新しい商品とか、そういうのもやっぱり聞いて、含めて聞いてくるのかなとは思っていたので、そういうのを聞けたらいいのかなって思っています。

○委員長（渡邊康弘君）

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

稲津のヤマスエさんの花瓶なんかは、あれは絶対売れると思うんやな。あそこそ、こういうことで埋もれとったノウハウが、作品が行政の力で表面に出てきたわけ。それで、一生懸命売ってくれるっていうことになるもので、あれはどういう形で売れるかっていうのにすごい興味がある。僕はあるからな。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。ああやって独自で販路が新たにできた会社もありますので、今回、訪問する企業さんっていうのを委員長、副委員長で判断させていただいてますけど、こういう調査や研究が進むにあたって、そういうのが必要、ほかの企業にも行きたいって言っていただければ、その都度、アポイントを取っていくっていうのもありだと思いますので。

本当に今はどの事業で何作とるか分からんというふうに言われる状態ですけど、しっかり提案、研究していけば、「ああ、こういうのがある」というのが分かれば、もっともっとそういう話をしたいってなると思いますので、そういうタイミングでこういうのでやっとならば、ここを縛られているんじゃないので。

先ほどの駅周辺の時も言いましたけど、ここで必要であれば、また今、この短期のタイミング

ではもうここで決めて動いていかないと動けないので、委員長に、委員会でこういう判断をさせていただいてますけど、そういうのがいいんじゃないかって言っていたら、またその過程の中でアポイントを取っていくことは可能だと思いますので、またお願いします。

○委員長（渡邊康弘君）

はい。議長 成瀬徳夫君。

○議長（成瀬徳夫君）

これブラッシュアップでいいのかな。これの調査研究はいいことなのでやってほしいと思うんだけど、瑞浪市議会の地域経済建設委員会でこういうことをやりましたよっていうことを相手方に知らせないかんのですよ。議長名で。だから、議長名で知らせた形において、それで、向こうも対応してもらわないかんということ。

あとは、ヒアリング候補に対しても、やっぱり事前に言っとかないかんので、それを委員会の委員長が勝手にやっちゃいかんと思う。やっぱり議長名で向こうへ出さないかんので、議会として僕が出すので、だから、そういうことは分かってもらって、委員会に見るのも頼んでさ、作ってもらって、送ってもらうようにしたいと思いますので、その辺だけお願いします。

○委員長（渡邊康弘君）

今の委員長、副委員長で、委員長と直接、企業さんとアポイントを取ろうとしてって問題があったってのはちゃんと理解しておりますので、議会事務局を通して、前もって内容項目とかも伝えて対応する予定ですので、お願いいたします。

ほかに。

4番 榛葉利広君。

○4番（榛葉利広君）

あと、一応、担当が決まってますけど、いわゆる向こうとの打合わせというか、話を聞くときは、自分、その担当委員がアポイントを取る。

○委員長（渡邊康弘君）

いや、すみません。今、議長も言われましたが、議会事務局を通じて、向こうの予定を聞いた上で日程を決めていきます。なので、もし、担当委員の方でこの日無理だよっていうことであれば、別の企業さん、先ほど、最初の説明でも言いましたように、臨機応変にちょっと、棚町委員に行っていたらどうか、棚町委員の行く予定だったところに榛葉委員に行っていたらどうか、というふうにやっていきます。

あくまで企業さん、仕事をしてる間に時間をいただくので、企業さんを優先した上で、私たちが合わせる形で行くということになりますので、お願いします。

○4番（榛葉利広君）

はい。

○委員長（渡邊康弘君）

ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

それでは、ブラッシュアップ事業の調査研究については、計画に沿って進めさせていただきますので、お願いいたします。

## ○委員長（渡邊康弘君）

次に、議題3、事業評価についてを議題といたします。

令和6年度事業評価 令和5年度評価対象事業の候補を挙げさせていただきました。

各事業につきましては、書いてあるとおりになんですけど、みずなみ未来部のシティプロモーション課、地場産品ブラッシュアップ事業、これに関しましては、年間のテーマになってる事業になりますので、ノミネートしてあります。

みずなみ未来部、シティプロモーション課、ミライ創ろまい課等推進事業、こちらは市外からも視察が来るような注目事業になっております。また、テレビで放映されるなど、今、大きな効果を上げている事業でありますので、評価対象として挙げております。

経済部、農林課、災害防止森林整備事業、こちらに関しましては、ホームページで見ると危険木伐採交付金事業となって名前が違うんですけど、道路脇の原木等、最初からの事業となっております。この予算が足りないんじゃないかという話がよく出ている事業になりますので、しっかりと評価した上で、必要であれば意見を言っていたきたいと思っています。

4番、経済部、商業観光課、コミュニティバス運行事業、こちらも令和5年度で一旦、計画が終了して、今、令和6年、新しい計画が始まっています。なので、この計画が終了するタイミングで評価対象としてもふさわしいんじゃないかというところで入れてあります。

5番、建設部、シティプロジェクト推進課、瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）、それに関してはうちの主要テーマの一つになりましたので、入れてあります。

6番、建設部、土木課、市単側溝等道路改良事業、これはずっと続いている事業になりまして、こういった市が粛々と進めている事業に対してもしっかりと視点を持った上で調査する必要があるということで、今、この6点を見させていただいております。

ただ、担当課とも調整、協議をする中で、詳細ではこの辺で、これちょっと償還対象の予算の使い方じゃないかなという可能性もありますので、そういったものがあればまたちょっと数を考えたいと思っています。

最初の時点で、予算決算委員会の事業評価が3つほどという話もありましたので、これは副委員長や予算決算委員会の委員長とも協議をしながら、この中から事業を絞りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

皆さん、では、委員長、副委員長、予算決算委員会の委員長と協議をしながら進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

何か質問はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、事業評価につきましては、委員長に一任いただきまして、令和5年度対象事業（候補）の中から決定していきますので、よろしくお願いいたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

次に、4、その他を議題といたします。

何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

○委員長（渡邊康弘君）

別段発言もないようですので、以上をもちまして、令和6年第6回地域経済建設委員会を閉会いたします。

ご苦勞様でした。

午前10時35分 閉会